

今月生まれのお友達をご紹介します
Happy Birthday



いばら まな
井原 茉奈ちゃん
 (下豊松)
 ☆親の願い 健康で今のま
 ますくすく大きくなってね。



くろせ けんと
黒瀬 賢人ちゃん
 (福永)
 ☆親の願い 元気でやさし
 い男の子になってね。



よこやま はるか
横山 遥奏ちゃん
 (ながの村)
 ☆親の願い これからも、
 笑顔の似合うカワイイ子で
 いてね☆

すっきり運動教室で“歩く”から“ウォーキング”に変えよう!

2月7日に油木体育館、3月7日に三和公民館ですっきり運動教室が開催され、2日間で24人の方が参加されました。体育指導員といっしょに準備体操やウォーキングの練習をしたあと、建物の周りをウォーキングしました。参加者同士で話しながら自分のペースで運動することができ、参加者からも「楽しかった」との声が聞かれました。

今後も健康づくりへの取り組みを行いますので、お気軽にご参加ください。



「農業をどうしていくか」ということは、地域をどう守るかということにつながっている」と山内さん。「法人としての経営も大切だが、『生き生きと、安心して暮らせる里づくり』をめざし、これからも活動していきたい」と今後の目標を語られました。

2007年7月に発足した『農事組合法人 高原の里まき』の事務局長をされている山内さん。法人の立ち上げや運営について中心的な役割を担われています。法人を立ち上げるきっかけになったのは、牧地域で行われたアンケート中の、高齢化に伴う農業への不安の声。「初めから、法人化を計画していたわけではない。『これから牧地域の農業をどうしていくか』ということをも5つの集落の代表が集まって、1年間話し合いを重ねた。その他にも、女性や年代別に分かれ勉強会や研修会を開いた。様々な取り組みの末の法人誕生でした。」

2008年度から法人での農業を始められ、「機械が大きくなり運転が難しくなったことや、肥料や苗を運ぶ経路や人の配置などが複雑になったことなど、大変なことがたくさんあった」と、1年間の活動を通して、課題も多く見つかったそうです。

また、後継者の獲得について「若い人、農業をしてくれる人を呼び込みたいが、米だけでは1年を通して仕事がない。その対策の1つとして、昨年ぶどうを植えた」と、若い人が働けるような環境を整えるための研究にも力を入れられています。

神石高原町の 一番星 No.24 み～つけた



牧自治振興会の
山内 輝幸さん